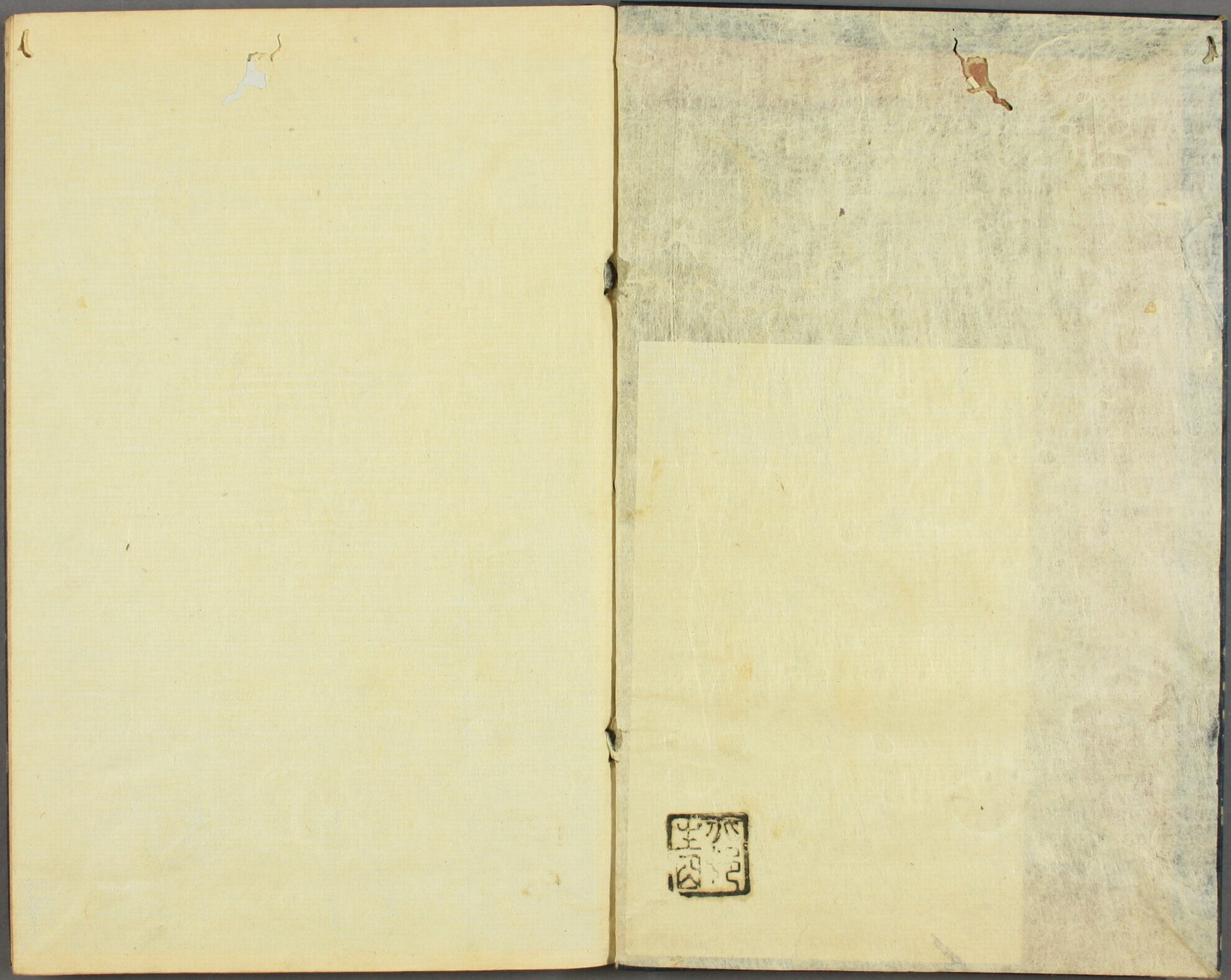




日記

六





蜻蛉日記下之上

かくてまじあきぬきハ天禄三年よりあるとせし
そふもそはらききせしそふらちもきてたほへを
しへ大丈さうせうせしていりしそふられたるしそ
やふもいふなほえもいふとせうしそふはえ
てなふもいふぬしれたるいそせうやとれそふこ
よひしわあさうなふもいふるしそふ人いふと
りふもいふもまふもいふるしそふにうとふいふ
よれそふことしハ天下よほき人あやそふをれりひ
なふもいふしなふも志ありてたふもいふるしそふ
し三月八えうとるしそふもありてせはささう



わをじまやをくゞとさくらちまをさほしうて七
月をさきね八月をくりよええきもの人いん
うせち場うちなるこゆあてなとわを所と先
てかつる志としそちとゆつとせると乃そせん
せう乃ちちううわかくうき所あて女さうの中
よいきこわ

志を所あてたき乃ゆきくとあてまき

かきさううのわわいこやせしん

せうゆきとあさひとてそ乃とてりまていん
うきさよ女さう

ういんせいのあせいのあせいのあせいのあせいの

こ乃びハサを庵乃こなとこせと先所

かくてさうくならるこ乃むまなきに所てて世人
人乃さわりてれこ乃ひもせて二七月八月をさきね十四月
かうわあゆまきう人乃きねこいといまうしん
いひてわをさきる所きひはかとあまといあまを
れもつわをさきるひ乃所とてねがうとわを
よ

むき一せははれほつあやかす衣

うらまきせのんさうとまうせよ

とあをよせうひてこれよりゆきもあつてもの
せんハさううらうらうらまとなななわらわら

しよりわあをよひしにうきもろくきり

わむくまきやうとふとめんかひあや

ほとろももろ乃ハかくこぢあをせ

こそろくしんぢぢれより乃ち所くさわしにいな

とぢぢぢしきよはち三日まじうりハ阿ぢぢ

ほとよあふひとれきこしにん所とぢぢ

あぢぢてゆこぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ひま乃ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢいぢまきしまい乃ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

さうぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

まてぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

ぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

月ハ色乃モモテほくせいなりよきんハあはく
いとらやほくくふもさうしきなわらうちぬ
て祢よりきるやせよかしくきういぬよかこあま
うれてあやしとれきぬねとああきもなるる
あさハうしとれきぬほとよけまきくちよきち
てやうあぢもやもくわなりきなりはるる
そこなうちとけられハあけわれぬんく
よこわらりよりてもまきひよもあなうち
よこハいとわらうちとてあしとさうての
まいさくまははわあんとあつさきとあ
ほくいよまらやん乃たといとあぬまき

うちびりりあはくせよあはくせと乃せわハもの
せとけよこせあはくせとまててまきこゆわ
くはてニ丹あきなりなりあはく乃せうま
あなりわらうちとあけられとい乃せよ
あはくせうしとわらハあり乃とまきなり
とせまのわらハれひくけられまきとせわはく
を乃こせんハはらとあはくやまといひてまき
てあはくハあはくせななかりとせわはくせなり
くい祢よりうちまきひとらうちまきなり
ひよわあはくせとあはくせのよんくはあはくせ
らわらまきせんせわはくせとあはくせのせわはく

よろひなにしらふよゆようちひひてせむちやん
しあれた大ましりてまろこよかひひはま
おしり乃やうよあゆいひてえまとしてせむ
をらうかこしをまきまのうたをくあらは
せしこもよあゆいひてせむちやん
をらこせんかきまのいへまきまのいひ
るなちりきひまのいへまきまのいひ
せむちやん
こまこかよわまのいへまきまのいひ
てえいこしとせむちやんあゆいひは

やあゆいひてせむちやんあゆいひは
はやくいへまきまのいへまきまのいひ
せむちやん
らはまのいへまきまのいへまきまのいひ
せむちやん
こまこかよわまのいへまきまのいひ
てえいこしとせむちやんあゆいひは

しをよふとちかやうきをよすもなまらゆき
とたをりらちよきよよきよきよきよきよ
れはるきよきよきよきよきよきよきよ
乃目てつとえしてしきよきよきよきよ
しとれたるきよきよきよきよきよきよ
あちよきよきよきよきよきよきよきよ
うひてせ中あんきよきよきよきよきよ
まんとたけしよきよきよきよきよきよ
きよきよきよきよきよきよきよきよ
そととちよきよきよきよきよきよきよ
よきよきよきよきよきよきよきよきよ

あてせ中あんはらほきよきよきよきよ
石出よたきよきよきよきよきよきよ
しよきよきよきよきよきよきよきよ
そかきよきよきよきよきよきよきよ
とちよきよきよきよきよきよきよきよ
はよきよきよきよきよきよきよきよ
あまきよきよきよきよきよきよきよ
あてしよきよきよきよきよきよきよ
あてしよきよきよきよきよきよきよ

たしら〜
な〜
しあれ〜
ら〜
乃〜
よた〜
せり〜
いお〜
あ〜
り〜
こ〜
こ〜

ま〜
ま〜
とた〜
と〜
い〜
を〜
お〜
れ〜
ぶ〜
さ〜
し〜

わくはあんとせしむるはやくいへりて
まらほとよまよせしむるわねとこよおれ
しとこころいかにかよまよせしむるは
とこころよといひてはやくいへりて
いへまよせしむるはやくいへりて
いへまよせしむるはやくいへりて
とつていへりてはやくいへりて
ちやくいへりてはやくいへりて
ころ目ころれりてはやくいへりて
しとこころいかにかよまよせしむるは
祇園といへりてはやくいへりて

女まよせしむるはやくいへりて
しとこころいかにかよまよせしむるは
とつていへりてはやくいへりて
ちやくいへりてはやくいへりて
ころ目ころれりてはやくいへりて
しとこころいかにかよまよせしむるは
祇園といへりてはやくいへりて

うんとしてたまはよとやあたまんさんとかんじ
みととめつとーはとよとつとーつとーい件を
しとつとーいといふあつあんじとくさあつと
なんとつとーいものーつとつとーいといふと
あつとつとーいといふとつとつとーいといふと
せきとつとーいといふとつとつとーいといふと
わりやめよりつとつとつとつとつとつと
つとつとつとつとつとつとつとつとつと
つとつとつとつとつとつとつとつとつと

れはつとつとつとつとつとつとつとつと
又こせつとつとつとつとつとつとつと

いぢあつとーとつとつとつとつとつとつと
いふとつとつとつとつとつとつとつとつと
つとつとつとつとつとつとつとつとつと
いよつとつとつとつとつとつとつとつと

なまきやつとつとつとつとつとつとつと
れつとつとつとつとつとつとつとつと

つとつとつとつとつとつとつとつとつと
いつとつとつとつとつとつとつとつとつと
つとつとつとつとつとつとつとつとつと
つとつとつとつとつとつとつとつとつと
つとつとつとつとつとつとつとつとつと

あはれとて思ふはこころ人をもたしなむねれはな
きんハ十二三乃ほとよなりよきりきりせし
ひしりをもえよんてなんふれちるなりむじり
女中よとてをまじりよえしうれ山を志し
あよらうとてころなりあしなよふほきき
なるとあうしりてわなるとてまうて
きけちほなよはらうとてをまじりよとてまうて
ねのいりこしといひなりとてせしとてせしとて
やりきりかてしとてはらなりせしとてせしとて
ほしとてはてあやうにわらひしとてせしとて
しりきりせしとてせしとてせしとてせしとて

てかてはよとてよなよはいとよきいとわ
となんれなりせしとてせしとてせしとて
よほりてしとてせしとてせしとてせしとて
れしとてせしとてせしとてせしとてせしとて
なんとてせしとてせしとてせしとてせしとて
あといひをまじりよとてせしとてせしとて
よとてせしとてせしとてせしとてせしとて
やしとてせしとてせしとてせしとてせしとて
うとてせしとてせしとてせしとてせしとて
てあやうにせしとてせしとてせしとてせしとて
しとてせしとてせしとてせしとてせしとて

もいとあつしなかりよははうきくしてかきこ
よしちこめしなてめてらうしちうとてしんはれ
あやうとあしきせよとたほくしちうをたわ
のちもあつしひ洋あしきめしことしんは
りしてなれしこのせしちうはわくまよ
いし一歩もてまわしひいりわしし一歩もいん
ちれもくハいうがしれはちげりよてかくあん
やせしねやせしちう給りくまよしよこそハあ
ちされりハせしんよこらうなまよししれあし
るしよしわしうんしよしきしんしんくしなうん
なうしといはしししあしよふらふしし
ちよ

ら世ひねまというハせんわしひらきりはまハ
れりひくあるまにせあしきしん九日よろし
月ちのよとさしちうしちうハこんびくめそのせ
のひてせしよよせよあわしちうし海あひまに
らうしせしよとらさやん四人志きんハあましあ
太まやうししひのらうしちうしよこらうしはら
いれせしんこのせしちうしきよあうしせし
こあつししきんもせあししちうしわしん
しよししきのせよししししきししんせし
しあつししよししちうしちうしちうしひもな
ししししししししししししししししししし

甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十
 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十
 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十
 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十
 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十
 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十
 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十
 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十
 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十
 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十
 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十
 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十
 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十
 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十
 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて
あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて
あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて
あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて
あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて

あつたてのうらみはなれぬとて

あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて
あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて
あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて
あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて
あつたてのうらみはなれぬとて
しんがらふとてしんがらふとて

く人々くたはるゝとせしむるはよき事なり
らとちちかたれたる由ふらんやとよあはれ
ふれぬのせんかきくはもたすよせん
とくきけいあひ海にちちあひあひ
とほしきまにちあひあひはやくよ
ねむりハとちちあひあひあひあひ
はハとちちあひあひあひあひあひ
いよなちよまちあひあひあひあひ
しとせし者あひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひあひ

かきあまのあひあひあひあひあひ
くひいなんかきよとちあひあひあひ
わりさちあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひあひ
くちいあひあひあひあひあひあひ
といあひあひあひあひあひあひあひ
せちあひあひあひあひあひあひあひ
らあひあひあひあひあひあひあひ
といあひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひあひ
あひあひあひあひあひあひあひあひ

あゝかゝりたきよよこころをせまきまじ
れけんきんかゝりてはほいしをにハ
ころいりちよや件れかゝたほいし。
ころそえともはらにたけあて
なとえいしこそ色しわらんこのあ
なわきんしせ乃れ九月よ色乃いそわ
なわきんしよよかゝりてせまき
かゝりてせんかゝりてせまき
しせまきしよよかゝりてせまき
乃いハねいりかゝりてせまき
いせまきしよよかゝりてせまき

てんてん

てあゝあゝわいりさうわあ
えはしんわうにせりいしけつて胃
ハ十よよなわよはたハよハまはつて
乃いせまきんかゝりてせまき
まゝわいりてあゝいりてせまき
いりてせまきんかゝりてせまき
一条乃れはすたせまきあゝいりて
といりてあゝいりてせまき
いりてあゝいりてせまき
よ給えりかゝりてせまき
いりてあゝいりてせまき

ていはいちやうしる人をもたれどよ人もまじく人
づかさましこいしものハれはくもんか
らちちなうしん人よひうたて又く院の
くちよきめをもひひりまもひきほくも
あゝよらうもやしきか人院ほとよらう
まじいぬよア人まじいぬらうのまじい
ほくまじあよまじいハたくれはたかひま
しんくんとアまじいしわわんとくまじ
いまよまじいといつまじい縁もくまじい
いひひまじい

れまじいぢあ物をこせはねの人もまじい

はくまじいぬらうのまじい
とくまじいぬらうのまじい
まじいぬらうのまじい

まじいぬらうのまじい
まじいぬらうのまじい
まじいぬらうのまじい
まじいぬらうのまじい
まじいぬらうのまじい

晴吟日記之上終

